
イオン 9 任務外報告 前編

pokemomtyan

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

イオン9 任務外報告 前編

【Nコード】

N9846U

【作者名】

pokemonmtyan

【あらすじ】

イオン9が集まった・・・さあ何が起こる？

イオン9の任務（前書き）

感想を書いてね。

イオン9の任務

次の日の昼、国会の方の会議室で民主党以外のあるメンバーが集まり、会議をしようとしていた。

武井咲（熱いよね〜クーラーも利かしていないし、夏バテになりそうだよ泣。私・・家や撮影現場のクーラーは必ず、15度にしないと死んじゃう病何だよ泣。）武井は床に寝っころがった。

菅田（ハハハ笑。咲ちゃん色っぽいからもっとしてくれや叫！最近、節電のせいで俺は風俗にも行けてないねん！今晚のおかずになるわ笑！どハハハ笑！）菅田は液晶カメラのフラッシュを繰り返した。

戸田恵梨香（ちよっと怒！兩人とも悪いわよ怒！大体ね・・アイツもイオン9の緊急会議をするとか言っときながら、2時間も遅刻するし・・怒。クーラー効いてないし腹が立つ怒。え〜い！クーラーの温度を27度から一気に、15度まで下げるわよ怒！）戸田は怒りながら、リモコンを使い15度に設定した。

武井咲（うわ〜い笑！姉さん大好き〜）

三浦春馬（ちよ・・戸田さん。ワシも言うのも何じゃが、落ち着いてくれ・・節電を心がけ・・）

戸田（うるさい怒！私が此处では法律だ怒！）

菅田（如何でも良いけれど、何で岡田のアホがこうへんのや怒。アイツ、今日こそ俺の能力で殺って良い菅？）菅田は胡坐をかき、菅語らしい言葉を話し出した。

玄葉（コラ怒・・菅田口が過ぎるし、菅語を話すな怒。俺はそれを聞いていると腹が立つんだ怒。）

菅田（玄葉怒・・お前はアホ菅？此れは菅田語じゃ怒！お前の指図は受けへんぞ怒！）

剛力（皆〜 ミスタードーナッツで焼きドーナッツ買って来たよ〜）

剛力は大量に買い込んでいた。

三浦（ワシ、ドーナッツ嫌いじゃ。）

戸田（私も熱いし、口の中にべちゃべちゃするし嫌い・・・）

玄葉（俺も嫌い・・・）

菅田（ドーナッツ嫌い、早く捨てる怒！）

武井（うゝん・私は剛力ちゃん嫌いじゃないけれど・ドーナッツは大嫌い笑！）満面の笑顔で言った。

剛力（此れはいじめかい怒！私は暑い中、ミスタードーナッツまで買いにいったんだぞ怒！食べる！任務だ怒！此处に置くから食べ怒！）剛力は怒鳴り散らした。

三浦（剛力・・・お前は、この前のイオン9編の時には、空き缶の Aqua に、咲ちゃんがごはんだったら、お前は漬物だと言われた女じや大人しくしておけ怒。暑苦しいワイ怒・・・）

剛力（あれだけが意味が分からないんですけど、どういう意味だろう怒？）

武井（ようするに笑・・・私がメインでアンタは、添え物って事じゃないの笑？まあ、仕方ないんじゃないのかな？此れからも私を盛り立ててよ漬物ちゃん笑！）武井は笑いながら、煙草のピースライトを吸いはじめた。白い煙がもくもくと上に上がって行った。

戸田（私にも火をくれる？）

武井（ハイ！姉さん！）両者は煙草を吸った。

剛力（うわゝ泣。酷いよ。皆してあたしの事をのけ者にしやがって怒！）すると会議室の扉が開いた。

岡田幹事長（待たせたな・・・お前等・・・）

三浦（岡田さん。少し遅いぞ怒・・・ワシ等も忙しいから勘弁してくれ。）

武井（私も凄く最近、ノイローゼなのよね。撮影、撮影、撮影、枕営業の順番で。）

菅田（げえ！咲ちゃん叫！枕営業してんの！）

武井（うん してるよ 昨日は、大河ドラマの監督と寝た！）

三浦（お前・・・まだ、17じゃろう・・・犯罪じゃぞ・呆。）

岡田（如何でも良い・・・今から書類を配って説明する・・・）岡田は

席に着こうとした。

剛力（岡田さ〜ん泣。皆が私を邪魔者にするんです泣！）剛力は飛びっこうとした。

岡田（よるな・・・六式・・・嵐脚！）剛力は腹に岡田の嵐脚をくらい、部屋の隅まで吹っ飛ばされた。

武井（うわ・・・恐い。）

岡田（フン怒・・・あの位で死なんわ。）岡田は死んだ目をしながら、剛力が買ってきた焼きドーナッツを地面に叩きつけて、足で踏みつぶした。

三浦&武井&戸田（うわ・・・恐いは・・・。）岡田は平然な顔で席に座って話し出した。

岡田（お前等に、イオン9の長官として話しておきたい事がある・・・。）

菅田（手短に離せよ怒。俺はお前の調子に乗っている態度が嫌いや怒！）

玄葉（菅田口を慎め怒！何も調子に乗っている人間は岡田さんだけでは無い。人間なんて皆、調子に乗る自分勝手な単細胞な生き物なんだ叫！）

戸田（アンタの考えも、かなり腐っているはね・・・まあ、ここの作品の登場人物は大体がこんなだ呆。）

岡田（配った書類を見る・・・）全員は書類を見た。

三浦（ん？あの空き缶を降ろすための第二次退陣論の署名でそれ以外何も書かれておらんではないか？）

岡田（透明のシールが貼っているだろう・・・それをめくれ。）皆はシールをはがした。

武井（うわ・・・呆。やっぱりだ、岡田さ〜ん・・・これって私達に犯罪の火の子が降らないよね？少なくとも私だけには犯罪の火の子が飛び火しないほしい・・・今、オスカーの中では上戸彩さんぐらい売れてるのに泣。）

戸田（アンタも怒！本当に自分の事しか考えていないわね怒！）

三浦（戸田・・・怒鳴り散らすな。しかし・・・此れは本当に弱ったのう・大体は読めていたが。）

岡田（俺がイオン9では無くて、民主党の幹事長として挙げた書類がこの、馬菅直人を総理の座からひきずり降ろす為の第二次退陣論だ・・・しかし・このシールをめぐって書かれているのは・イオン9の長官としての任務事項を書いている・・・名付けて・アホ缶・撲滅・退陣させた後に、イオン9のメンバーで一斉に襲撃をして跡形もなく菅を抹殺しよう・大作戦だ・・・）岡田は口では笑っていたが目は睨んでいた。

三浦（でも、岡田さん。ワシが言うのも何じゃが、前の暗殺計画は鳩山の後ろ盾があったから実行に移せたものの、今回は何の後ろ盾も無いから出来ないのではないかのう・・・）

武井（仮に殺せても、私達は只の犯罪者になるんじゃないの？一般の人間を殺すのならまだしも、こんなアホの空き缶でも、総理大臣なんだし可能性はゼロに近いんじゃないの？）

岡田（やはり・・・お前等は若いから、考えが浅い・・・俺達には、イオングループの後ろ盾がある・・・この前の鳩山は只の飾りだ・・・イオンの名の下に俺は中学生時代・親父の経営状況で苦しんでいた時から俺は親父を助ける為正義の為・・・いや・・・俺の欲求、闇の正義の名の下に散々人を殺しまくった・・・サラ金の頭、町内会の会長、役に立たない社員、そして・・・14歳の時に店舗の土地を得る為に、スラム街に住む闇市の人間、800人・・・女子供を含めて全員殺した・・・其れが何で許されたか？簡単だイオンの名の下に実行できたからだ。）辺りは重い空気に包まれた。

武井（まあ・・・そこまでして何の罪も無いのなら、殺しても大丈夫よね・・・汗。）

戸田（私は・・・別にストレス解消になるから良いけど・・・汗。）

三浦（い菅な・・・冷や汗が出るワイ・・・汗。）

岡田（い菅だと・・・怒。春馬怒・俺を怒らせたいか・・・）岡田は睨みつけた。

三浦（うわわ。すまんかったワイ。菅語・・・いや！菅田語がよかったワイ！）

岡田（如何でも良いが怒・・・俺はあの空き缶には腹が立っているんだ怒・・・何もできないゴミ屑が・・・さっきもこんな物を渡しやがった。）岡田は物を手で掴み、机の中央に叩きつけた。

菅田（な・何やねんこれ？）

岡田（此れは・・・あのアホが数時間前に廊下で俺に渡したものだ、俺はアイツと話すのが嫌だからこの肩にいてる鳩吉に話さしたんだ・）

三浦（よっぽど嫌いなんじゃのう・・・呆。）話は数時間前の国会の廊下までさかのぼる。

菅直人（岡田く叫！ちよつと待ってくれよ笑！）岡田は無視をして歩こうとした。

菅直人（ねえってば！岡田 オカダン 岡ちゃん 岡ポン 岡P）

菅は数十分、岡田の前や後ろをスキップしながら、こんな会話が続いた。岡田は呆れて代わりに、鳩吉に話さした。

鳩吉（ぽっぽ！総理！何回も同じことを煩いですよ怒！何ですか？どうせまた、俺様は内閣を辞任しないとか、脱原発、ストレステストと言っうんでしょう！勝手にしてください迷惑です怒！）

菅直人（違うよ笑。この前のイオン9の件は水に流すけど、岡さんにプレゼントがあるんだ 此れからも俺様を支えてくれよな）菅は鞆の中身を探った。

鳩吉（別に・・・荷物が重なるからいらないですよぽっぽ。）

菅直人（そういうなよじゃーん 此れは、俺様が第一次震災復興予算から拝借して、3日、寝ずに完成させた名付けて・・・おしゃべり！菅さん人形だ叫！）その人形は、背広を着た菅のぬいぐるみだった。

鳩吉（い・いりませんぽっぽ。）

菅直人（何で俺様と会話する時にだけ、鳩が代わりにしゃべるのかわ菅らんが、取りあえず此れを挙げるから裏切らないでね 因みに

此れは全部で20もの言葉を話せるし、日常会話を聞き取り次から次に新しい言葉を学習するんだ！充電は太陽の光を浴びればOKなのだ笑！お前の娘が今度、子供を産むみたいだし3人目の孫にでもプレゼントしろよ　じゃあなー！大事に使えよ！俺様は遊びに行ってくるゝ）

岡田&鳩吉（アホだ・・・怒。）会議室に話は戻る。

戸田（もう・・・殺す価値も無いんじゃないの呆れる。）

岡田（本当に腹が立つ・・・怒。更に背中のBボタンを押して見る武井・）

武井（うわ！全然、可愛くないよこの人形泣。笑い方が不気味で気持ち悪いし、しかも、何かこの人形、押し入れの匂いがする泣。）

武井は手を震わせながら、人形の後ろのBボタンを押した。

菅人形（俺様は！内閣を辞任しないぞべろべろべろ！）

戸田（うわ・・・ムカツク怒。）

武井（更に・・・一つ下にAボタンがある・・・）Aボタンを押した。

菅人形（俺様は支持率が12.5%までになったが、まだ12%も支持があるしまだまだ継続するぞ例え！%になろうが、内閣は辞任しないぞ！喰らえ・・・脱原発だー叫！べろべろべろ！）

三浦（この人形・・・処分して良いかのう・・・怒。）

岡田（面白い処分の仕方を思いついた・・・後で話す。それより武井。新メンバーを連れてこい。お前の推薦だろう？）

武井（あつ！そうだった！おゝい3人共！入って笑！）

3人（いやゝ咲ちゃんは本当に可愛いなゝ）

続

イオン9の任務（後書き）

感想を書いてね。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n9846u/>

イオン9 任務外報告 前編

2011年10月9日02時50分発行